

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
1 女川原発の問題点と住民の安全を考える	5月21日、福井地方裁判所は、関西電力大飯原発の再稼働差し止め判決を下しました。憲法で保障された「人格権」を守ること以上に大切なものはなく、原発は他の技術とは異なり「本質的な危険性」を持っていると指摘し、原発の「安全神話」に対して厳しく断罪しました。
	このことは、全ての原発に対して当てはまる重大な判決だと思います。
	また、女川原発1号機的设计者である渡辺敦雄氏（以前(株)東芝の原子力事業部で基本設計を担当）の講演を聞く機会がありました。その中で、女川原発の再稼働に反対する7つの理由として、①使用済み燃料の問題。②発電システムに原子力は必須ではないこと。③事故被害が膨大であること。④女川原発はマークI改良型であり、原子炉格納容器に基本的な問題があること。⑤複合災害による原発震災が生じること。⑥活断層の問題。⑦放射能の環境への放出の問題と避難指示に関する問題を取りあげていました。
	そこで次の点について伺います。
	(1) 大飯原発の判決をどのようにお考えですか。

質 問 者 阿 部 律 子

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	<p>(2) 渡辺敦雄氏が「深層防護」の立場から7つの問題提起をしていますが、特に増え続ける使用済み燃料処理の問題や、事故被害が膨大であること。「複合災害による原発震災が生じることとした問題提起に対して、町長はどのようなお考えなのか伺います。</p> <p>(3) 過酷事故が起きた場合には、誰が責任を負うのですか。町長の見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長)</p>
<p>2 若者定住支援策の強化を</p>	<p>5月12日～17日まで議会・住民懇談会が開かれ、多くの町民の皆さんからのご意見、ご提言を伺いました。その中で、人口減少の歯止め策や、若者の定住支援策の問題、さらには企業誘致で雇用を確保し、納税者を増やすような方針を出すべきとの、女川の将来を心配する声も多く聞かれました。貴重なご意見に対し、しっかりと耳を傾けながら、これからのまちづくりをしていかなければなりません。</p> <p>石巻市では若手職員中心に少子化対策プロジェクトチームを設置（河北新報6月3日付）したとのことですが、本町でも本腰を入れて、人口減少歯止め</p>

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
	<p>策、若者定住支援策を検討すべきではないでしょうか。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 本町でも本格的なプロジェクトチームを立ち上げるべきではないですか。</p> <p>(2) 雇用確保のための企業誘致のお考えは。</p> <p>(3) 子どもを産み、育てやすい環境づくりとして、町独自の子育て支援金等、検討すべきではありませんか。</p> <p>(質問の相手：町長)</p>